

岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価結果表

①第三者評価機関名

社会福祉法人 岐阜県社会福祉協議会

②事業者情報

名 称：大垣市立南保育園	種別：保育所
代表者氏名：青山 淳子	定員（利用人数）： 116 名
所 在 地：大垣市南瀬町4-1	TEL：0584-78-3934

③総 評

◇特に評価の高い点

- ・大垣市の中心部に位置する大垣市立南保育園は、旧国道21号線と258号線が南北に走る地域で、共働きの世帯が多く、多様化するニーズに応えるため、午前7時から午後6時30分までの長時間・延長保育を実施し、育児と就労の両立を支援する役割を堅持している。
- ・理念に「一人一人の発達を促し、保護者から信頼され地域から愛される保育園を目指す」とあり、事業経営に関する各計画などの根本的な考え方として明文化している。基本方針に「心豊かにたくましく生きる子の育成を図る」とあり、同保育所の進むべき方向が目指されていた。
- ・自治会活動を活発に行っており、保・幼・小連携や中学生、高校生とのふれあい活動が定着している。
- ・週2回、隣接している障がい者施設「かわなみ作業所」とふれあい体操を実施するなど、地域に根付いた活動が行われている。
- ・年間食育計画を策定しており、「楽しく食べる子どもに」「食から育つ元気な子」を目標として掲げている。当番活動などを通して、準備から片付けまで責任を持って関わらせていたり、食器や箸の使い方、あいさつなどのマナーを身につけさせている。
- ・大垣市の保・幼・小連携のモデル地区であり、保育参観や小学校教員の保育実習など、小学校と積極的に交流を図り、0歳児から6年生までを見通した教育課程の編成も手がけている。
- ・地域の小・中・高校との交流を大切にしている。
- ・電話による子育て相談や、未就園児が園児と一緒に遊ぶ「子育てひろばピヨピヨ」を開催するなど、行事には地域や保護者へのボランティア活動の参加を積極的に呼びかけている。
- ・園児の体づくりを目指して、外部講師を招き、全年齢に体幹を鍛えるためのリズム遊びを取り入れている。
- ・内部研修は、PDCA手法を用いたKJ法（川喜田二郎東工大博士＝カードをグループごとにまとめて図解し、共同作業で実施）で、課題を奥深く見直し、解決に向けて進んでいる。
- ・園舎は古いのが、明るく清潔に保たれている。職員手作りの飾りつけが随所であり、また、園児の作品等の掲示により、保育にふさわしい環境が整っている。

- ・当方で、保護者向けのアンケートを実施した結果、98.9%の高い回答率であり、保護者からの理解があることが見受けられた。また、「子どもが先生のこと大好きなのが、とても伝わってくる」「違う組の先生も名前でも呼んでくれるので親しみやすい」などの意見が多くあった。
- ・訪問調査時には、職員だけでなく、園児からの自然な挨拶が行われており、とても雰囲気の良い保育所であった。

◇改善を求められる点

- ・アンケートの結果、事業計画について「説明を受け、理解した」が55%と低い。行事ごとに実施する保護者アンケートに、事業計画を掲載する等、保護者への更なる周知を期待する。
- ・時間外勤務・休憩時間は、労務管理の中で確実に履行されていると思われるが、再度確認されたい。施設長は、自ら率先して有給休暇を取得して、職員の範を示すと良い。
- ・保育所内には相談に応じる部屋が無いため、ホールの一角を利用している。相談者がより気軽に相談できるよう衝立を設けるなどの環境づくりが望まれる。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、第三者評価を受審し、園経営や保育内容を見直す機会を得て、改めて職員一人ひとりが保育を見つめ直すことができました。評価調査委員の皆様により課題が明らかとなり、園の問題点を細かく教えていただきました。この受審結果をもとに更なる保育の質の向上を目指し、次年度に繋げていきたいと思っております。ありがとうございました。